

様式 3-9 (ばらつき評価 項目整理表)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
1	2	3	2	1	掘削工	基準高▽ 法長l	対象 対象
1	2	3	2	2	掘削工(面管理)	平場 法面 法面(軟岩 I)	対象 対象 対象
1	2	3	2	3	掘削工(水中部/面管理)	平場 法面	対象 対象
1	2	3	3	1	盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	3	3	2	盛土工(面管理)	天端 法面	対象 対象
1	2	3	4		盛土補強工	基準高▽ 厚さt 控え長さ	対象 対象 —
1	2	3	5		法面整形工(盛土部)	厚さt	—
1	2	3	6		堤防天端工	厚さt 幅w	— —
1	2	4	2	1	掘削工	基準高▽ 法長l 幅w	対象 対象 対象
1	2	4	2	2	掘削工(面管理)	天端 法面 法面(軟岩 I)	対象 対象 対象
1	2	4	3	1	路体盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	4	4	1	路床盛土工	基準高▽ 法長l 幅w1,w2	対象 対象 対象
1	2	4	3	2	路体盛土工(面管理)	天端	対象
1	2	4	4	2	路床盛土工(面管理)	天端	対象
1	2	4	5		法面整形工(盛土部)	厚さt	—
1	3	7	4		組立て	平均間隔D かぶりt	対象 対象
3	2	3			道路改良/護岸工/流路工	幅w1,w2,w3	対象
3	2	3	4		矢板工	基準高▽ 根入長 変位l	対象 — 対象
3	2	3	5		縁石工(縁石/アスカープ)	延長L	—
3	2	3	6		小型標識工	設置高さh 基礎 幅w(D) 基礎 高さh 基礎 根入長	— 対象 対象 —
3	2	3	7		防止柵工	基礎 幅w 基礎 高さh パイプ取付高h	対象 対象 対象
3	2	3	8	1	路側防護柵工(ガードレール)	基礎 幅w 基礎 高さh ビーム取付高h	対象 対象 対象
3	2	3	8	2	路側防護柵工(ガードケーブル)	基礎 幅w 基礎 高さh 基礎 延長L ケーブル取付高h	対象 対象 — 対象
3	2	3	9		区画線工	厚さt(溶融式のみ) 幅w	— —
3	2	3	10		道路付属物工(視線誘導標/距離標)	高さh	対象
3	2	3	11		コンクリート面塗装工	塗料使用量	—
3	2	3	12	1	プレテンション桁製作工(購入工/けた橋)	桁長L(m) 断面の外形寸法 橋桁のそりδ1 横方向の曲がりδ2	対象 対象 対象 対象
3	2	3	12	2	プレテンション桁製作工(購入工/スラブ桁)	桁長L(m) 断面の外形寸法 橋桁のそりδ1 横方向の曲がりδ2	対象 対象 対象 対象
3	2	3	13		ポストテンション桁製作工	幅(上)w1 幅(下)w2 高さh 桁長l支間長 横方向最大タワミ	対象 対象 対象 対象 対象
3	2	3	14	1	プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	桁長l 断面の外形寸法(mm)	— —
3	2	3	14	2	プレキャストセグメント主桁組立工	桁長l支間長 横方向最大タワミ	対象 対象
3	2	3	15		PCホロースラブ製作工	基準高▽ 幅w1, w2 厚さt 桁長l	対象 対象 対象 対象
3	2	3	16	1	PC箱桁製作工	基準高▽ 幅(上)w1 幅(下)w2 内空幅w3 高さh1 内空高さh2	対象 対象 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	3	16	2	PC押出し箱桁製作工	桁長l 幅(上)w1 幅(下)w2 内空幅w3 高さh1 内空高さh2 桁長l	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	3	17		根固めブロック工	層積 基準高▽ 層積 厚さt 層積 幅w1,w2 層積 延長L1,L2 乱積 基準高▽ 乱積 延長L1,L2	対象 — — — 対象 —
3	2	3	18		沈床工	基準高▽ 幅w 延長L	対象 対象 —
3	2	3	19		捨石工	基準高▽ 幅w 延長L	対象 — —
3	2	3	22		階段工	幅w 高さh 長さL 段数	対象 対象 対象 対象
3	2	3	24	1	伸縮装置工(ゴムジョイント)	据付け高さ 表面の凹凸 仕上げ高さ	対象 対象 対象
3	2	3	24	2	伸縮装置工(鋼製フィンガージョイント)	高さ 表面の凹凸 歯型板面の歯咬み合い部の高低差 歯咬み合い部の縦方向間隔w1 歯咬み合い部の軸方向間隔w2 仕上げ高さ	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	3	24	3	伸縮装置工(埋設型ジョイント)	表面の凹凸 仕上げ高さ	対象 対象
3	2	3	26	1	多自然型護岸工(巨石張り、巨石積み)	基準高▽ 法長l 延長L	対象 対象 —
3	2	3	26	2	多自然型護岸工(かごマット)	法長l 厚さt 延長L	対象 — —
3	2	3	27	1	羽口工(じゃかご)	法長l 厚さt	対象 —
3	2	3	27	2	羽口工(ふとんかご、かご枠)	高さh 延長L1,L2	— —
3	2	3	28		プレキャストカルバート工	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 — — —
3	2	3	29	1	側溝工(プレキャスト側溝)	基準高▽ 延長L	対象 —
3	2	3	29	2	側溝工(場所打水路工)	基準高▽ 厚さt1,t2 幅w 高さh1,h2 延長L	対象 対象 対象 対象 —
3	2	3	29	3	側溝工(暗渠工)	基準高▽ 幅w1,w2 深さh 延長L	対象 — — —
3	2	3	30		集水樹工	基準高▽ 厚さt1～t5 幅w1,w2 高さh1,h2	対象 — 対象 対象
3	2	3	31		現場塗装工	塗膜厚	—
3	2	4	1		切込砂利／砕石基礎工／割ぐり石基礎工／均しコンクリート	幅w 厚さt1,t2 延長L	— — —
3	2	4	3	1	基礎工(護岸／現場打)	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 対象 対象 —
3	2	4	3	2	基礎工(護岸／プレキャスト)	基準高▽ 延長L	対象 —
3	2	4	4	1	既製杭工	基準高▽ 根入長 偏心量D 傾斜	対象 — 対象 対象
3	2	4	4	2	既製杭工(鋼管ソイルセメント杭)	基準高▽ 根入長 偏心量D 傾斜 杭径D	対象 — 対象 対象 —
3	2	4	5		場所打杭工	基準高▽ 根入長 偏心量D 傾斜 杭径D	対象 — 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	4	6		深礎工	基準高▽ 根入長 偏心量D 傾斜 基礎径D	対象 — 対象 対象 対象
3	2	4	7		オープンケーソン基礎工	基準高▽ ケーソンの長さl ケーソンの幅w ケーソンの高さh ケーソンの壁厚t 偏心量D	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	4	8		ニューマチックケーソン基礎工	基準高▽ ケーソンの長さl ケーソンの幅w ケーソンの高さh ケーソンの壁厚t 偏心量D	対象 対象 対象 対象 対象 対象
3	2	4	9		鋼管矢板基礎工	基準高▽ 根入長 偏心量D	対象 — 対象
3	2	5	3	1	コンクリートブロック工	基準高▽ 法長l 厚さ(ブロック積・張)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	5	3	2	コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	基準高▽ 法長l 延長L1,L2	対象 対象 —
3	2	5	3	3	コンクリートブロック工(天端保護ブロック)	基準高▽ 幅w 延長L	対象 — —
3	2	5	4		緑化ブロック工	基準高▽ 法長l 厚さ(ブロック)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	5	5		石積(張)工	基準高▽ 法長l 厚さ(石積・張)t1 厚さ(裏込)t2 延長L	対象 対象 対象 — —
3	2	6	6	4	橋面防水工(シート系床版防水層)	シートの重ね幅	対象
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工(下層路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工／粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工(上層路盤工／粒度調整路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	5	アスファルト舗装工(上層路盤工／セメント安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工(上層路盤工／セメント安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	7	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	8	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	9	アスファルト舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	7	10	アスファルト舗装工(基層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	7	11	アスファルト舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	7	12	アスファルト舗装工(表層工／面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工(下層路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(上層路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	5	半たわみ性舗装工(上層路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工(上層路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	7	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	8	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	9	半たわみ性舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	8	10	半たわみ性舗装工(基層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	8	11	半たわみ性舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	8	12	半たわみ性舗装工(表層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	平坦性 基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 対象 —
3	2	6	9	2	排水性舗装工(下層路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	9	3	排水性舗装工(上層路盤工／粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	9	4	排水性舗装工(上層路盤工／粒度調整路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	5	排水性舗装工(上層路盤工／セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	9	6	排水性舗装工(上層路盤工／セメント(石灰)安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	7	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	9	8	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	9	排水性舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	9	10	排水性舗装工(基層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	9	11	排水性舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	9	12	排水性舗装工(表層工／面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	6	10	1	透水性舗装工(路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	10	2	透水性舗装工(路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	10	3	透水性舗装工(表層工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	10	4	透水性舗装工(表層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	1	グースアスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	11	2	グースアスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	3	グースアスファルト舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	11	4	グースアスファルト舗装工(基層工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	11	5	グースアスファルト舗装工(表層工)	厚さ 幅 基準高▽ 平坦性	対象 対象 対象 対象
3	2	6	11	6	グースアスファルト舗装工(表層工／面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(下層路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工(セメント(石灰)／瀝青)安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工(セメント(石灰)／瀝青)安定処理工(面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(アスファルト中間層／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	厚さ 幅 平坦性 基準高▽ 目地段差	対象 対象 対象 対象 対象
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工／面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性 目地段差	対象 対象 対象
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	12	12	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／下層路盤工／面管理)	基準高▽ 厚さあるいは標高較差	対象 対象
3	2	6	12	13	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	14	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／粒度調整路盤工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	15	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／セメント(石灰)／瀝青)安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	16	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／セメント(石灰)／瀝青)安定処理工／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	17	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／アスファルト中間層)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	12	18	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工／アスファルト中間層／面管理)	厚さあるいは標高較差	対象
3	2	6	12	19	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	厚さ 幅 平坦性 基準高▽ 目地段差	対象 対象 対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
3	2	6	12	20	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工/面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性 目地較差	対象 対象 対象
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	基準高▽ 厚さ 幅	対象 対象 —
3	2	6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工/粒度調整路盤工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工/セメント(石灰)安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	14	4	ブロック舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	14	5	ブロック舗装工(基層工)	厚さ 幅	対象 —
3	2	6	15	1	路面切削工	厚さt 幅w	対象 —
3	2	6	15	2	路面切削工(面管理)	厚さt(標高較差) 幅w	対象 —
3	2	6	16		舗装打換え工	路盤工 幅w 路盤工 延長L 路盤工 厚さt 舗設工 幅w 舗設工 延長L 舗設工 厚さt	— — 対象 — — 対象
3	2	6	17	1	オーバーレイ工	厚さt 幅w 延長L 平坦性	対象 — — 対象
3	2	6	17	2	オーバーレイ工(面管理)	厚さあるいは標高較差 平坦性	対象 対象
3	2	7	2		路床安定処理工	基準高▽ 施工厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 —
3	2	7	3		置換工	基準高▽ 置換厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 —
3	2	7	4	1	表層安定処理工(サンドマット海上)	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 —
3	2	7	4	2	表層安定処理工(ICT施工)	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 —
3	2	7	5		パイルネット工	基準高▽ 厚さt 幅w 延長L	対象 対象 対象 —
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さt 幅w 延長L	対象 対象 —
3	2	7	7		パーチカルドレーン工/締固め改良工	位置・間隔w 杭径D 打込長さh 砂投入量	対象 — — —
3	2	7	9	1	固結工	基準高▽ 位置・間隔w 杭径D 深度L	— 対象 — —
3	2	7	9	2	固結工(スラリー攪拌工/3次元計測)	基準高▽ 位置 杭径D 改良長L	— 対象 — —
3	2	7	9	3	固結工(中層混合処理)	基準高▽ 施工厚さt 幅w 延長L	— — — —
3	2	10	5	1	土留/仮締切工(H鋼杭)(鋼矢板)	基準高▽ 根入長	対象 —
3	2	10	5	2	土留/仮締切工(アンカー工)	削孔深さl 配置誤差D	— 対象
3	2	10	5	3	土留/仮締切工(連節ブロック張り工)	法長l 延長L1,L2	対象 —
3	2	10	5	4	土留/仮締切工(締切盛土)	基準高▽	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						天端幅w	対象
						法長l	対象
3	2	10	5	5	土留／仮締切工(中詰盛土)	基準高▽	対象
3	2	10	9		地中連続壁工(壁式)	基準高▽	対象
						連壁の長さl	—
						変位	対象
						壁体長L	—
3	2	10	10		地中連続壁工(柱列式)	基準高▽	対象
						連壁の長さl	—
						変位D	対象
						壁体長L	—
3	2	12	1	1	鋳造費(金属支承工)	接合用ボルト孔の直径差	対象
						接合用ボルト孔の中心距離	対象
						アンカーバー用孔の直径差	対象
						アンカーバー用孔の中心距離	対象
						センターボスの直径	対象
						センターボスの高さ	対象
						ボスの直径	対象
						ボスの高さ	対象
						上咨の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法	対象
						全移動l	対象
						組立高さh	対象
						普通寸法	対象
3	2	12	1	2	鋳造費(大型ゴム支承工)	幅w、長さL、直径D	対象
						厚さt	対象
						相対誤差	対象
3	2	12	1	3	仮設材製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さh(m)	対象
						外周長L(m)	対象
3	2	12	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合)	フランジ幅w(m)腹板高h(m)腹番間隔' (m)	対象
						板の平面度 δ (mm)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
						圧縮材の曲がり δ (mm)	対象
						全長L(m)	対象
						支間長Ln(m)	対象
						主桁、主構の中心間距離B(m)	対象
						主構の組立高さh(m)	対象
						主桁、主構の通り δ (mm)	対象
						主桁、主構のそり δ (mm)	対象
						主桁、主構の橋端における出入差 δ (mm)	対象
						主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	対象
						現場継手部のすき間 δ 1, δ 2(mm)	対象
3	2	12	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	フランジ幅w(m)腹板高h(m)	対象
						板の平面度 δ (mm)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
3	2	12	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	部材の水平度	対象
						堤長L	対象
						堤長l	対象
						堤幅w	対象
						堤幅w	対象
						高さH	対象
						ベースプレートの高さ	対象
						本体の傾き	対象
3	2	12	4		検査路製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	5		鋼製伸縮継手製作工	部材長w(m)	対象
						組合せる伸縮装置との高さの差 δ 1(mm)	対象
						フィンガーの食い違い δ 2(mm)	対象
3	2	12	6		落橋防止装置製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	7		橋梁用防護柵製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	8		アンカーフレーム製作工	上面水平度 δ 1(mm)	対象
						鉛直度 δ 2(mm)	対象
						高さh(mm)	対象
3	2	12	9		プレビーム用桁製作工	フランジ幅w(m)腹板高h(m)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						部材長l(m)	対象
						主桁のそり δ	対象
3	2	12	10		鋼製排水管製作工	部材長l(m)	対象
3	2	12	11		工場塗装工	塗膜厚	—
3	2	13			架設工(鋼橋)	全長L(m)支間長Ln(m)	対象
						通り δ (mm)	対象
						そり δ (mm)	対象
						主桁、主構の中心間距離B(m)	対象
						主桁の橋端における出入差 δ (mm)	対象
						主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	対象
						現場継手部のすき間 δ 1, δ 2(mm)	対象
3	2	13			架設工(コンクリート橋)	全長・支間	—
						桁の中心間距離	—
						そり	—
3	2	14	2	1	植生工	切土法長l	対象
						盛土法長l	対象
						延長L	—
3	2	14	2	2	植生工(植生基材吹付工)(客土吹付工)	法長l	対象
						厚さt	—
						延長L	—
3	2	14	3		吹付工(コンクリート)(モルタル)	法長l	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						長さ	—
3	2	14	4	1	法枠工(現場打法枠工)(現場吹付法枠工)	延長L	—
						法長l	対象
						幅w	—
						高さh	—
						枠中心間隔a	対象
						延長L	—
3	2	14	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長l	対象
						延長L	—
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さl	—
						配置誤差D	対象
						せん孔方向θ	対象
3	2	15	1		(一般事項)場所打擁壁工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						裏込厚さ	対象
						幅w1,w2	対象
						高さh	対象
						延長L	—
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工	基準高▽	対象
						延長L	—
3	2	15	3		補強土壁工	基準高▽	対象
						高さh	対象
						鉛直度△	対象
						控え長さ(補強材の設計長)	—
						延長L	—
3	2	15	4		井桁ブロック工	基準高▽	対象
						法長l	対象
						厚さt1,t2,t3	—
						延長L1, L2	—
3	2	16	3	1	浚渫船運転工(ポンプ浚渫船)	基準高▽	対象
						幅	—
						延長	—
3	2	16	3	2	浚渫船運転工(グラブ浚渫船／バックホウ浚渫船)	基準高▽	対象
						幅	—
						延長	—
3	2	16	3	3	浚渫船運転工(バックホウ浚渫船／面管理)	標高較差	対象
3	2	18	2		床版工	基準高▽	対象
						幅w	対象
						長さt	対象
						鉄筋のかぶり	—
						鉄筋の有効高さ	対象
						鉄筋間隔	対象
6	1	7	4		護岸付属物工	幅w	—
						高さh	対象
6	1	10	8		杭出し水制工	基準高▽	対象
						幅w	対象
						方向	対象
						延長L	—
6	1	13	3		配管工	埋設深t	対象
						延長L	—
6	1	13	4		ハンドホール工	基準高▽	対象
						厚さt1～t5	対象
						幅w1,w2	—
						高さh1,h2	—
6	3	5	6	1	函渠工(本体工)	基準高▽	対象
						厚さt1～t8	対象
						幅w1,w2	—
						内空幅w3	—
						内空高h1	対象
						延長L	—
6	3	5		2	函渠工(ヒューム管／PC管／コルゲートパイプ／ダクタイル鋳鉄管)	基準高▽	対象
						延長L	—
6	3	5	7		翼壁工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	3	5	8		水叩工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	7		床版工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	8		堰柱工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—
6	4	6	9		門柱工	基準高▽	対象
						長さt	対象
						幅w	—
						高さh	対象
						延長L	—

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
6	4	6	10		ゲート操作台工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	4	6	11		胸壁工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	6	13		閘門工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	6	14		土砂吐工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	8		堰本体工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	9		水叩工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	7	10		土砂吐工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 堰長L	対象 対象 — 対象 —
6	5	8	3		魚道本体工	基準高▽ 厚さt1,t2 幅w 高さh1,h2 延長L	対象 対象 対象 対象 —
6	5	9	2		管理橋橋台工	基準高▽ 厚さt 天端幅w1(橋軸方向) 天端幅w2(橋軸方向) 敷幅w3(橋軸方向) 厚さh1 胸壁の高さh2 天端長l1 敷長l2 胸壁間距離l 支点長及び中心線の変化	対象 対象 — — — 対象 対象 — — 対象 対象
6	6	4	6		本体工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh1,h2 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	6	4	7		燃料貯油槽工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	6	5	7		コンクリート床版工	基準高▽ 厚さt 幅w 高さh 延長L	対象 対象 — 対象 —
6	7	4	6		本体工(床固め本体工)	基準高▽ 天端幅w1,w3 堤幅w2 堤長L1,L2 水通し幅l1,l2	対象 — — — 対象
6	7	4	8		水叩工	基準高▽ 厚さt 幅w 延長L	対象 対象 — —
6	7	5	6		側壁工	基準高▽ 天端幅w1 堤幅w2 長さL	対象 — — —
7	1	5	5		場所打コンクリート工	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 — — —
7	1	5	6		海岸コンクリートブロック工	基準高▽ ブロック厚t ブロック縦幅w1 ブロック横幅w2	対象 — — —

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
7	1	6	4		海岸コンクリートブロック工	延長L 基準高▽ 法長l 厚さt 延長L	— 対象 対象 — —
7	1	6	5		コンクリート被覆工	基準高▽ 法長l 厚さt 裏込材厚t' 延長L	対象 対象 対象 — —
7	1	8	2		コンクリート被覆工	基準高▽ 幅w 厚さt 基礎厚t' 延長L	対象 — — — —
7	1	9	3		波返工	基準高▽ 幅w1,w2 高さh1,h2,h3 延長L	対象 — 対象 —
7	2	4	4		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
7	2	4	5		吸出し防止工	幅w 延長L	— —
7	2	5	2		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
7	2	5	5		海岸コンクリートブロック工	基準高▽ 天端幅w 天端延長L	対象 対象 —
7	2	5	9		石枠工	基準高▽ 厚さt 高さh 延長L	対象 対象 対象 —
7	2	5	10		場所打コンクリート工	基準高▽ 幅w 高さh 延長L	対象 対象 対象 —
7	2	5	11	1	ケーソン工	パラストの基準高▽ 壁厚t1 幅w 高さh1 長さL 底板厚さt2 フーチング高さh2	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
7	2	5	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	法線に対する出入1、2 据付目地間隔1'、2'	対象 対象
7	2	5	11	3	ケーソン工(突堤上部工)／場所打コンクリート／海岸コンクリートブロック	基準高▽ 厚さt 幅w 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	5	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚t 幅w 高さh 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	5	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	法線に対する出入1、2 隣接ブロックとの間隔1'、2'	対象 対象
7	2	5	12	3	セルラー工(突堤上部工)／場所打コンクリート／海岸コンクリートブロック	基準高▽ 厚さt 幅w 長さL	対象 対象 対象 対象
7	2	6	2		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w 天端延長L	対象 対象 対象 —
7	2	6	3		根固めブロック工	基準高▽ 厚さt 幅w1w2 延長L1,L2	対象 — — —
7	2	7	3		消波ブロック工	基準高▽ 厚さt 幅w1,w2 延長L1,L2	対象 — — —
7	3	3	3		捨石工	基準高▽ 法長l 天端幅w1 天端延長L1	対象 対象 対象 —
8	1	3	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部材長l(m)	対象
8	1	8	4		コンクリート堰堤本体工	基準高▽ 天端部w1,w3堤幅w2 水通しの幅l1,l2 堤長L1,L2	対象 対象 対象 対象
8	1	8	6		コンクリート側壁工	基準高▽ 幅w1,w2 長さL	対象 対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
8	1	8	8		水叩工	基準高▽ 幅w 厚さt 延長L	対象 対象 対象 —
8	1	9	5	1	鋼製堰堤本体工(不透過型)	水通し部 堤高▽ 水通し部 長さl1,l2 水通し部 幅w1,w3 水通し部 下流側倒れ△ 袖部 袖高▽ 袖部 幅w2 袖部 下流側倒れ△	対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長L 堤長l 堤幅w 堤幅w 高さh 高さh	対象 対象 対象 対象 対象 対象
8	1	9	6		鋼製側壁工	堤高▽ 長さL 幅w1,w2 下流側倒れ△ 高さh	対象 対象 対象 対象 対象
8	2	5	8		魚道工	基準高▽ 幅w 高さh1,h2 厚さt1,t2 延長L	対象 対象 対象 対象 —
8	3	6	4		山腹明暗渠工	基準高▽ 厚さt1,t2 幅w 幅w1,w2 高さh1,h2 深さh3 延長L	対象 — 対象 — 対象 — —
8	3	7	4		集排水ボーリング工	削孔深さl 配置誤差D せん孔方向θ	— 対象 対象
8	3	7	5		集水井工	基準高▽ 偏心率D 長さL 巻立て幅w 巻立て厚さt	対象 対象 対象 — 対象
8	3	9	6		合成杭工	基準高▽ 偏心率D	対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(本体)	天端高▽ 天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(水叩)	天端高▽ ジョイント間隔 幅 長さ	対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(副ダム)	天端高▽ ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	対象 対象 対象 対象 対象
9	1	4			コンクリートダム工(導流壁)	天端高▽ ジョイント間隔 リフト高 長さ 厚さ	対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	5		コアの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	— 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	6		フィルターの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	— 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2	4	7		ロックの盛立	基準高▽ 外側境界線 基準高▽ 外側境界線 盛立幅 基準高▽ 外側境界線	— 対象 対象 対象 対象 対象 対象
9	2				フィルダム(洪水吐)	基準高▽ ジョイント間隔	対象 対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						厚さt	対象
						幅w	対象
						リフト高さ	対象
						長さL	対象
9	3	3			ボーリング工	深度L	—
						配置誤差	対象
10	1	3	2		遮音壁支柱製作工	部材長(m)	対象
10	1	9	6		場所打函渠工	基準高▽	対象
						厚さt1～t4	対象
						幅(内法)w	対象
						高さh	対象
						延長L	—
10	1	11	4		落石防止網工	幅w	—
						延長L	—
10	1	11	5		落石防護柵工	高さh	対象
						延長L	—
10	1	11	6		防雪柵工	高さh	対象
						延長L	—
						基礎 幅w1,w2	対象
						基礎 高さh	対象
10	1	11	7		雪崩予防柵工	高さh	対象
						延長L	—
						基礎 幅w1,w2	—
						基礎 高さh	—
						アンカー長l(打込み)	—
						アンカー長l(埋込み)	—
10	1	12	4		遮音壁基礎工	幅w	対象
						高さh	対象
						延長L	—
10	1	12	5		遮音壁本体工	支柱 間隔w1,w2	対象
						支柱 ずれa	対象
						支柱 ねじれb-c	対象
						支柱 倒れD	対象
						高さh	対象
						延長L	—
10	2	4			歩道路盤工取合舗装路盤工路肩舗装路盤工	基準高▽	対象
						厚さ	対象
						幅	—
10	2	4			歩道舗装工取合舗装工路肩舗装工表層工	基準高▽	対象
						厚さ	対象
						幅	—
10	2	5	9		排水性舗装用路肩排水工	基準高▽	対象
						延長L	—
10	2	7	4		踏掛版工(コンクリート工／ラバーシュー／アンカーボルト)	基準高▽	対象
						各部の厚さ	対象
						各部の長さ	対象
						各部の長さ	対象
						厚さ	対象
						中心のずれ	対象
						アンカー長	対象
10	2	9	4	1	大型標識工(標識基礎工)	幅w1, w2	対象
						高さh	対象
10	2	9	4	2	大型標識工(標識柱工)	設置高さh	—
10	2	12	5	1	ケーブル配管工	埋設深t	対象
						延長L	—
10	2	12	5	2	ケーブル配管工(ハンドホール)	基準高▽	対象
						厚さt1～t5	—
						幅w1, w2	対象
						高さh1, h2	対象
10	2	12	6		照明工(照明柱基礎工)	幅w	—
						高さh	—
10	3	3	3		鋼製橋脚製作工	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm)	対象
						ベースプレート孔の位置	対象
						ベースプレート孔の径D	対象
						柱の中心間隔対角長L(m)	対象
						はりのキャンパー及び柱の曲がり δ (mm)	対象
						柱の鉛直度 δ (mm)	対象
10	3	6	8		橋台躯体工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						天端幅w1(橋軸方向)	対象
						天端幅w2(橋軸方向)	対象
						敷幅w3(橋軸方向)	対象
						高さh1	対象
						胸壁の高さh2	対象
						天端長l1	対象
						敷長l2	対象
						胸壁間距離l	対象
						支間長及び中心線の変位	対象
						支承部アンカー計画高	対象
						支承部アンカー平面位置	対象
						アンカーボルト孔の鉛直度	対象
10	3	7	9	1	橋脚躯体工(張出式／重力式／半重力式)	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						天端幅w1(橋軸方向)	対象
						敷幅w2(橋軸方向)	対象
						高さh1	対象
						天端長l1	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						敷長l2	対象
						橋脚中心間距離l	対象
						支間長及び中心線の変位	対象
						支承部アンカー計画高	対象
						支承部アンカー平面位置	対象
						アンカーボルト孔の鉛直度	対象
10	3	7	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						天端幅w1	対象
						敷幅w2	対象
						高さh	対象
						長さl2	対象
						橋脚中心間距離l	対象
						支間長及び中心線の変位	対象
						支承部アンカー計画高	対象
						支承部アンカー平面位置	対象
						アンカーボルト孔の鉛直度	対象
10	3	8	9	1	橋脚フーチング工(I型／T型)	基準高▽	対象
						幅w(橋軸方向)	対象
						高さh	対象
						長さl	対象
10	3	8	9	2	橋脚フーチング工(門型)	基準高▽	対象
						幅w1, w2	対象
						高さh	対象
10	3	8	10	1	橋脚架設工(I型／T型)	基準高▽	対象
						橋脚中心間距離l	対象
						支間長及び中心線の変位	対象
10	3	8	10	2	橋脚架設工(門型)	基準高▽	対象
						橋脚中心間距離l	対象
						支間長及び中心線の変位	対象
10	3	8	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2(\text{mm})$	対象
10	4	3	9		橋梁用高欄製作工	部材長l(m)	対象
10	4	5	10	1	支承工(鋼製支承)	据付け高さ	対象
						可動支承の移動可能量	—
						支承中心間隔(橋軸直角方向)	対象
						水平度	対象
						可動支承の橋軸方向のずれ同一支承線上の相対誤差	対象
						可動支承の機能確認	—
10	4	5	10	2	支承工(ゴム支承)	据付け高さ	対象
						可動支承の移動可能量	—
						支承中心間隔(橋軸直角方向)	対象
						水平度	対象
						可動支承の橋軸方向のずれ同一支承線上の相対誤差	対象
						可動支承の機能確認	—
10	4	8	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	—
						アンカーボルト定着長	—
10	4	8	5		地覆工	地覆の幅w1	対象
						地覆の高さh	対象
						有効幅員w2	対象
10	4	8	6		橋梁用防護柵工	天端幅w1	対象
						地覆の幅w2	対象
						高さh1	対象
						高さh2	対象
						有効幅員w3	対象
10	4	8	7		橋梁用高欄工	天端幅w1	対象
						地覆の幅w2	対象
						高さh1	対象
						高さh2	対象
						有効幅員w3	対象
10	4	8	8		検査路工	幅	対象
						高さ	対象
10	5	6	2		プレビーム桁製作工(現場)	幅w	対象
						高さh	対象
						桁長(スパン長)	対象
						軸方向最大タワミ	対象
10	6	4	3		吹付工	吹付け厚さ	—
10	6	4	4		ロックボルト工	位置間隔	—
						角度	—
						削孔深さ	—
						孔径	—
						突出量	対象
10	6	5	3		覆工コンクリート工	基準高▽(拱頂)	対象
						幅w(全幅)	対象
						高さh(内法)	対象
						厚さt	—
						延長L	—
10	6	5	5		床版コンクリート工	幅w	—
						厚さt	—
10	6	6	4		インバート本体工	幅w(全幅)	対象
						厚さt	—
						延長L	—
10	6	8	4		坑門本体工	基準高▽	対象
						幅w1, w2	—
						高さh	—
						延長L	—
10	6	8	5		明り巻工	基準高▽(拱頂)	対象
						幅w(全幅)	対象

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	評価対象
						高さh(内法)	対象
						厚さt	対象
						延長L	—
10	11	6	2		現場打躯体工	基準高▽	対象
						厚さt	対象
						内空幅w	対象
						内空高h	対象
						ブロック長L	対象
10	11	6	4		カラー継手工	厚さt	—
						幅w	—
						長さL	—
10	11	6	5	1	防水工(防水)	幅w	—
10	11	6	5	2	防水工(防水保護工)	厚さt	—
10	11	6	5	3	防水工(防水壁)	高さh	—
						幅w	対象
						厚さt	対象
10	11	7	2		プレキャスト躯体工	基準高▽	対象
						延長L	—
10	12	5	2		管路工(管路部)	埋設深t	対象
						延長L	—
10	12	5	3		プレキャストボックス工(特殊部)	基準高▽	対象
10	12	6	2		ハンドホール工	基準高▽	対象
						厚さt1～t5	—
						幅w1,w2	対象
						高さh1,h2	対象
10	14	4	5	1	切削オーバーレイ工	厚さt(切削)	対象
						厚さt(オーバーレイ)	対象
						幅w	—
						延長L	—
						平坦性	—
10	14	4	5	2	切削オーバーレイ工(面管理)	厚さt(標高較差)(切削)	対象
						厚さt(オーバーレイ)	対象
						幅w	—
						延長L	—
						平坦性	—
10	14	4	7		路上再生工	路盤工 厚さt	対象
						路盤工 幅w	—
						路盤工 延長L	—
10	16	3	4		桁補強材製作工	フランジ 幅w(m)、腹板高h(m)、腹板間隔b'(m)	対象
						フランジの直角度 δ (mm)	対象
						圧縮材の曲がり δ (mm)	対象
10	16	22			橋梁耐震補強工(落橋防止装置工)	削孔長	—
						定着長	—
3	2	3			小段排水工	厚さt	—
						幅w1w2	—
3	2	3			縦排水工	厚さt	—
						幅w1w2	—
3	2	3			張コンクリート工	厚さt	—